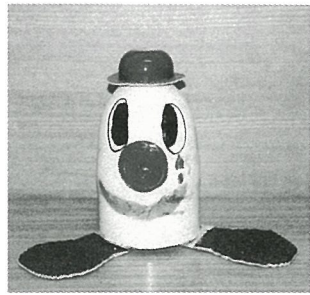




4年 小川 俊輔くん

※電気を通ず物をさがそう。光るこ、とても楽しいよ。



『ひかるピエロ』



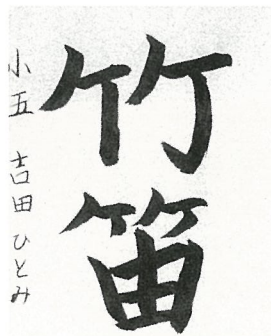
『たまいれ』



1年 實川早紀子さん

※つんどうかいで、たまいれをしたよ。みんながんばって、なげたんだよ。

あつまれ みんなの力作



『竹 笛』



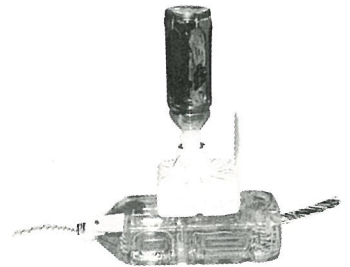
5年 吉田ひとみさん

※字のバランスもよく、一字一字、たいへん力強く書きました。



2年 山本 優さん

※ペットボトルやプリンのカップをたくさんつかってぞうを作りました。



『すいすいぞうさん』

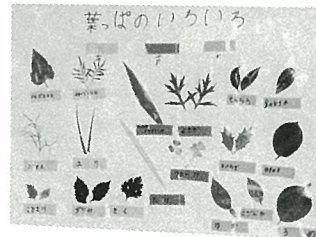


6年 伊藤 美香さん

※ドラエモンの頭を作るのとドラエモンを立てようとするのが大変でした。



『笑う、ドラエモン?』



『葉っぱのいろいろ』



3年 鈴木亜寿佳さん

※横芝田で採集した葉を、花(桃)、草(緑)、木(黄)と色分けしました。



ひかり俳壇

布施 和代(二又)

父と子の意気ぴったりと踊るかな

未だ頑(たが)はない年頃の児か、親子の振りが妙に決って居る微笑ましい光景を詠んだ

土屋 義昭(虫生)

病室の窓に聞きたる踊り笛

病室に流れて来る盆踊りのお囃子、病臥の身にはとりわけ笛の音は心に染み透る

伊藤 定男(尾垂)

お囃子に大きく育つ踊の輪

槽太鼓がひかり音頭・大漁節に移ると、慣れた音頭に踊りの輪は一層大きな輪となる

川島 孝夫(二又)

踊る輪のいつも大きな大漁節

大木 素風(二又)

踊る輪の母と目が合ひむずかる児

大木 静水(篠本)

盆踊り手拍子揃ふ大きな輪

秋山 一泉(栢田)

盆踊り最高潮に輪を拡ぐ

鴨川 篤(尾垂)

片言の異国の人も盆踊り

小柳 孝之(尾垂)

朝顔を賛めてバイクの郵便夫

短評

椎名しげる

評者吟 踊りつ、ひかり音頭の輪に入る